

経営比較分析表（令和2年度決算）

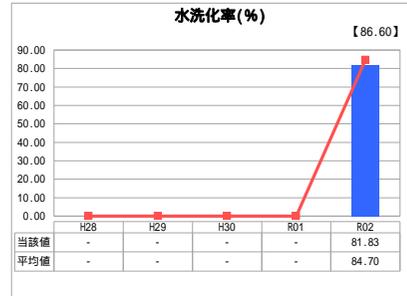
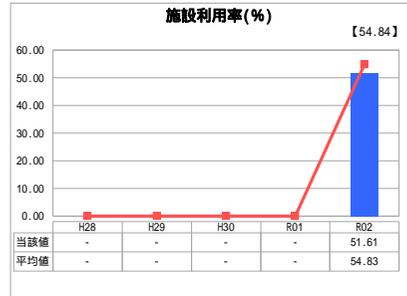
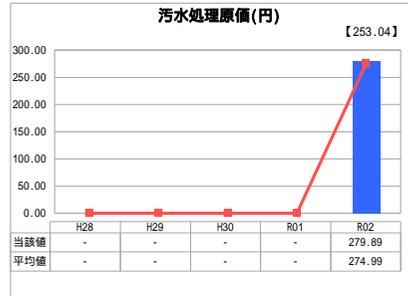
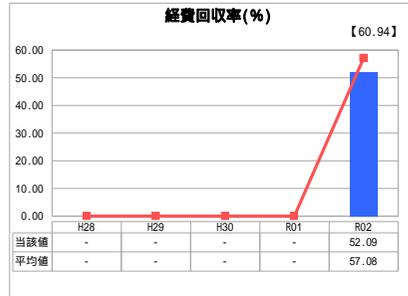
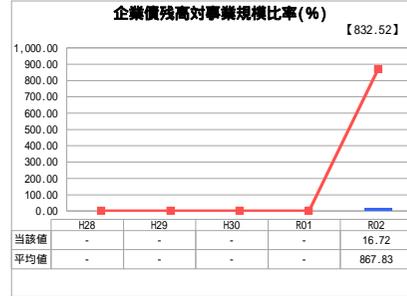
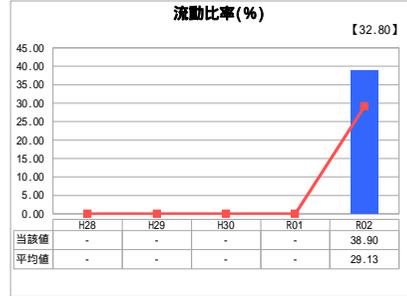
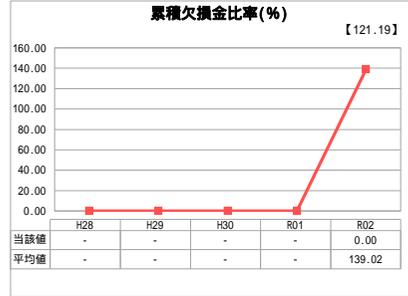
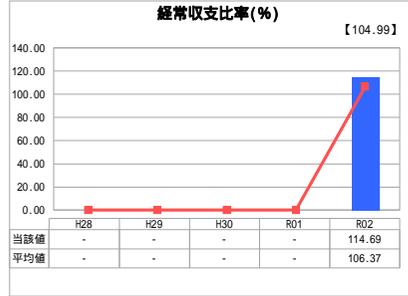
佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.96	5.66	77.41	3,020

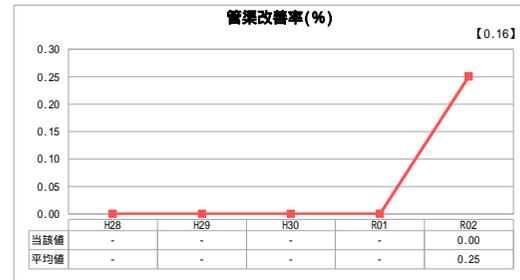
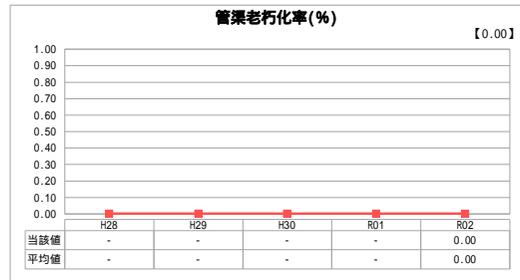
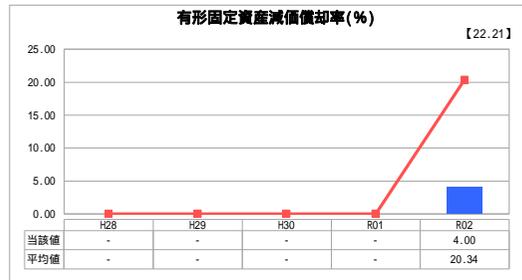
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,953	95.81	469.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,537	1.41	1,799.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水について、経常収支比率は100%以上となっているが、経費回収率において52.09%となっており、一般会計からの繰入金等に依存している。
 企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して低い状態になっている。
 また、汚水処理原価については修繕費などの汚水処理費の増加と水洗化の遅れにより有収率が伸びてないことから類似団体よりも高い値となっている。
 施設利用率、水洗化率のいずれも類似団体より非効率な状況となっている。その要因は、農村部の高齢化により、接続率が上がらないことが原因と思われる。今後は統廃合の検討を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成13年3月27日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を越えたものはない状況である。
 しかし、農業集落排水の3処理区の内、2処理区については整備から10年以上を経過しているため、施設の機能強化を行っている。

全体総括

分析の結果、当市の課題は水洗化率の低さにあると思われる。このため下水道に接続してもらえるように、戸別訪問や、PRを強化する必要がある。
 また、収益的収支比率や経費回収率が低いこともあり、他会計繰入金に頼っている状況である。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。